

## 藤沢市立辻堂小学校改築事業 基本設計検討状況 中間説明会の結果について

7月28日（日）に辻堂小学校体育館におきまして、辻堂小学校改築事業基本設計検討状況についての中間説明会を開催いたしました。

### 1. 学校施設改築事業の概要についての説明

改築事業の概要として、市立学校施設の現在の状況、辻堂小学校の建物ごとの整備手法案、事業スケジュール予定について、ご説明いたしました。

#### 【建物ごとの整備手法案】

建物	整備手法
北側校舎（校舎棟1・2）	改築（建替え）
屋内運動場、給食調理場	改築（建替え）
南側校舎（校舎棟3）	※長寿命化改修

※長寿命化改修とは単に物理的な不具合を直すのみでなく、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げることです。

#### 【事業スケジュール予定】

令和7年度末までの予定で実施設計を行った後、予算の議決を受けた上で、4～5年の工事期間を予定。

※施設の配置や解体・新築の順序などにより、工事工程に大きく変更が生じます。

### 2. 改築事業の基本コンセプトについて

#### 【基本コンセプト】

施設が抱える現状の課題や環境条件等を踏まえ、改築事業の基本方針について、次のように掲げています。

#### ① 安全・安心に配慮され、将来にわたりずっと使い続けられる「持続可能な施設」

- ・児童が安全に登下校や学校生活を送れるよう動線に配慮する。
- ・災害時の津波避難を含めた避難施設としての機能を備える。
- ・地球の環境負荷軽減のため、高いレベルの省エネ・再エネ性能の導入を検討する。

② 技術の発展や学習、社会環境の変化に「柔軟に対応できる施設」

- ・読書だけでなくICTを活用した個別学習やグループ活動など、様々な学習の場となるメディアセンターを校舎中央に配置する。
- ・将来の諸室数や面積を見据え、環境の変化に柔軟に対応できる施設計画とする。

③ 誰にとっても使いやすい「居場所がある施設」

- ・児童にとって「居場所」がある、楽しく通える施設計画。
- ・特別支援学級を普通学級と自然と交流が生まれるよう隣接して配置する。
- ・学校開放など、地域との交流の拠点として使いやすい施設とする。

④ 現在の町並みや雰囲気を損なわない「まちに溶け込む施設」

- ・建物の高さを抑え、既存校舎の雰囲気を残しつつ周辺環境に溶け込む、明るく開かれた施設とする。

今後配置方針の決定を受け、実施設計の際には改築事業の基本コンセプトを基に、さらに詳細な検討を進めます。

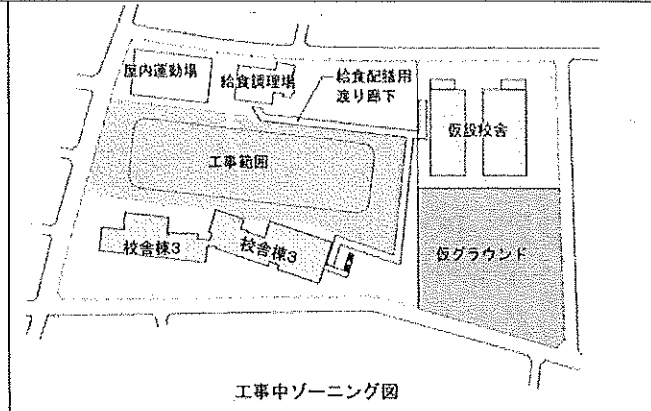
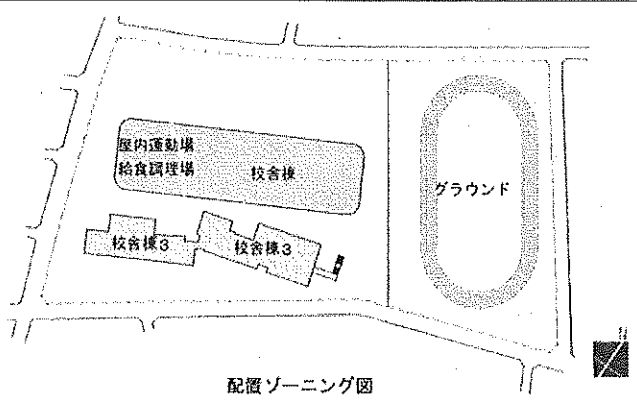
3. 配置の比較検討（素案）について

長寿命化改修を行う南側校舎と新校舎は動線上近くに配置する必要があることから、配置案として3パターンを挙げ、それぞれのメリットやデメリットを比較評価し、検討しました。

A案 — 校舎棟を現在の位置に建替える案(仮設校舎(大)) —									
■ 配置上の特徴									
・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さく、まとまりのある配置が可能									
■ 工事の流れ									
・大きな仮設校舎建設→新校舎建設と長寿命化改修を同時に実施									
配置ゾーニング図					工事中ゾーニング図				
A案	工事期間中			事業完了後				整備コスト	全体工期
	仮設校舎	仮グラウンド	移転	給食の配膳	生活環境	グラウンド環境	周辺への影響		
	△	△	△	△	○	△	○	△	○
	・既存校舎分の面積の仮設校舎が必要となる。 ・広いスペースが必要になる。	・仮設校舎の建設が必要なため、広いスペースを確保することが難しい。	・仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要となる。	・仮設校舎及び校舎棟3への配膳が長く、また外部通路に出る必要がある。	・既存校舎の配置と大きく変わらず、まとまりのある配置が可能。	・現状とほぼ変わらない位置、面積となりあまり広くない。 ・日影の影響はほぼない。	・現状とほぼ変わらず、周辺環境への変化が小さい。	・大きな仮設校舎が必要。 (仮設校舎概算金額:約1.3億円)	・仮設校舎の新築・解体が必要なため、工期が長くなる。(仮設校舎使用月数:約2.3カ月)

## B案 — 校舎棟を現在の位置に建替える案(仮設校舎(小)) —

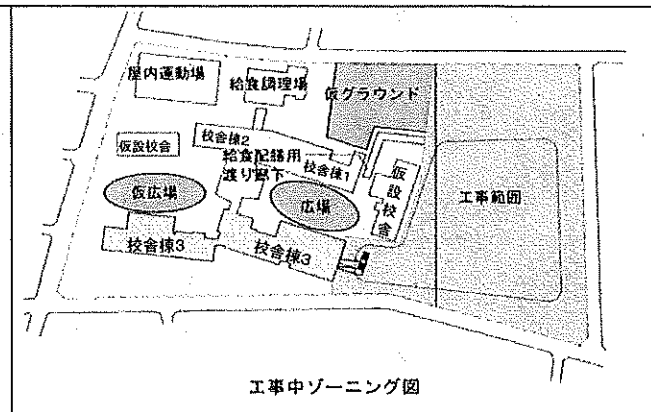
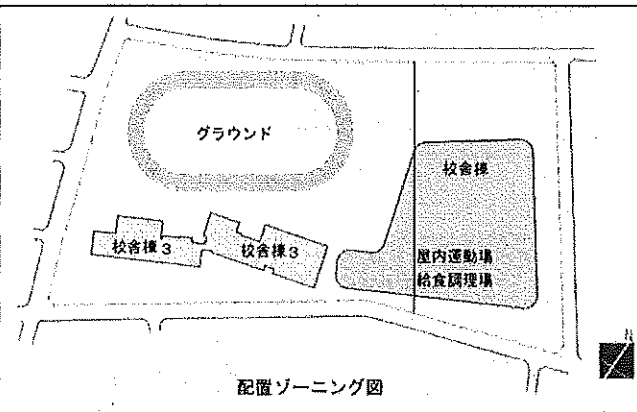
- 配置上の特徴
  - ・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さく、まとまりのある配置が可能
- 工事の流れ
  - ・仮設校舎建設→新校舎建設→長寿命化改修



	工事期間中				事業完了後			整備コスト	全体工期
	仮設校舎	仮グラウンド	移転	給食の配膳	生活環境	グラウンド環境	周辺への影響		
B案	◎ ・既存校舎の半分程度の面積の仮設校舎が必要となる。	◎ ・仮設校舎が必要となるが、A案よりも広いスペースが確保できる。	△ ・半数程度、仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要になる。もう半数程度は新校舎への移転が1回必要になる。	△ ・仮設校舎及び校舎棟3への配膳が長く、また外部通路に出る必要がある。	◎ ・既存校舎の配置と大きく変わらず、まとまりのある配置が可能。	△ ・現状とほぼ変わらない位置、面積となりあまり広くない。 ・日影の影響はほぼない。	◎ ・現状とほぼ変わらず、周辺環境への変化が小さい。	◎ ・A案と比べて小さな仮設校舎でよい場合、コストは9.5割程度となる。 (仮設校舎概算金額：約10億円)	△ ・新校舎建設と長寿命化改修を分けて工事をするため、A案よりも3カ月程度全体の工期が長くなる。(仮設校舎使用月数：約30カ月)

## C案 — 校舎棟を既存のグラウンドに建替える案(仮設校舎なし) —

- 配置上の特徴
  - ・校舎棟から児童の登下校やグラウンド活動など敷地全体を目視できるため、防犯・安全性が高い
  - ・グラウンドの面積が現在よりも広く確保できる
- 工事の流れ
  - ・新校舎建設→長寿命化改修



	工事期間中				事業完了後			整備コスト	全体工期
	仮設校舎	仮グラウンド	移転	給食の配膳	生活環境	グラウンド環境	周辺への影響		
C案	◎ ・仮設校舎を設けない計画案。	◎ ・広いスペースを確保することが難しいが、広場も含め分散してスペースが確保できる。 ・仮グラウンドの期間が他2案に比べ短くなる。	◎ ・校舎棟3から新校舎への移転が1回、校舎棟1・2から改修完了後の校舎棟3への移転が1回必要になる。	◎ ・校舎棟3の改修時には、新校舎から校舎棟1・2等への配膳が必要になるが、他2案に比べ、外部通路での配膳距離が短い。	△ ・校舎が東西に長く、動線が長くなるため、南東部分に屋内運動場、特別教室を配置するなどの配慮が必要。	◎ ・面積としては、現状より広くとれる。 ・北側のグラウンドとなるため、新校舎や校舎棟3の日影の影響がある。	△ ・南東側から東側にかけて新校舎ができるため、日影・視線・音などの環境の変化がある。	◎ ・仮設校舎の新設、解体が無い分、A案に比べてコストが8割程度となる。	◎ ・仮設校舎の新設、解体が無い分、A案に比べて工期が9カ月程度短くなる。

#### 4. 意見・質問及び回答について

説明会の際に、地域住民の皆様及び保護者の皆様から、主な内容として、次のようなご意見をいただき、回答いたしました。

出席者からのご意見・ご質問	事務局からの回答
設計の中に辻堂小学校の現状の課題や今後の目標をどうやって盛り込んでいるのか。	学校が掲げる教育目標を、メディアセンターを拠点として教育活動に盛り込めるよう検討いたします。
工事期間が長いと仮設校舎での期間が長くなる。また、通路や工事音など児童への支障をどう考えているか。	ガードフェンスの設置や誘導員を配置し安全確保を行います。また、防音パネルの設置など音にも配慮いたします。
工事のスケジュールはどうなっているのか。	令和8年度から着工し、令和12年度にグラウンド工事など、すべての工事が完了する予定です。
南側校舎の西側に鉄骨ブレースの配置とあるが、東側はやらなくて大丈夫なのか。	建物劣化の調査結果から、東側には配置しなくても安全を保つことはできます。
C案について、仮グラウンドや配膳ルートなど工事期間中の影響についての考えを伺いたい。	子どもたちの学校活動を第一に考え、工期や費用面なども考慮しながら、子どもたちに工事による影響をなるべく少なくするよう検討していきます。
地域団体がグラウンドを使用している。工事期間中は使えるのか。他の学校を使えるよう調整はしてもらえるのか。	他校の事例として、本市のスポーツ推進課と使用団体で調整を行い、市の施設や他校を活用した事例はあります。要望がありましたらご相談ください。
配置案はいつ決定するのか。	各案の比較検討を行った結果、C案のメリットが多いため、C案を進めていきたいと考えています。今後、12月に市議会への報告を行い、来年1月に改めて地域や保護者のみなさまへの説明会の機会を設けさせていただきます。
体育館は地域団体も使用するので、用具の収納など、使いやすい施設にしてほしい。	改築後も地域団体のみなさまにも使いやすい施設となるよう配置などを検討していきます。
南側の歩道が狭い。そこも工事範囲となるのか。	学校敷地内の可能な範囲で拡幅を検討いたします。
雨の日など学校前の道路が大変混雑している。門の位置などを考慮してほしい。	児童が道路からすぐに学校敷地に入れるよう、敷地の各角に門を設けることを検討いたします。

配置の比較検討を行い、事業費や工期、学校運営の視点から、C案をベースとして、今回いただきましたご意見も踏まえ、引き続き学校関係者のみなさま、地域住民のみなさまからご意見をいただきながら、詳細について検討してまいります。

今後とも、辻堂小学校改築事業へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 【問い合わせ先】

藤沢市教育委員会 教育部  
 学校施設課  
 TEL：0466(50)3557  
 藤沢市役所 計画建築部  
 公共建築課  
 TEL：0466(50)3540